

契約の更新

キー・ヴァース"私たちの神の神殿をおろそかにしないことを共に約束します"

-ネヘミヤ10:39

選ばれた聖句ネヘミヤ記10:28-39

ペルシャ王アルタクセルクセスは、その治世の7年目に、バビロンに捕らえられていたイスラエル人は、ユダヤ人の律法学者であり祭司であったエズラとともにエルサレムに自由に行くことができるという命令を下した。さらにアルタクセルクセスは、イスラエルの神へのいけにえに必要な供え物を買うため、また神の家に必要なものを調達するために、銀と金をイスラエル人に与えるように命じた。エズラ記7:1-27

それから13年後、エズラと共にエルサレムに向かったユダヤ人の何人かがバビロンに戻った。彼らは、王の信頼厚い杯の運び手であったユダヤ人のネヘミヤに、エルサレムの惨状を伝えた。この報告を聞き

て、ネヘミヤは主に祈った。彼は、イスラエルの罪
(

)と欠点を告白し、エルサレムの再建のためにエルサレムに派遣されるよう求める王の前で、神が彼に憐れみを与えてくださるよう願った。神の恵みのおかげで、アルタクセルクセスはネヘミヤの願いを認めた。ネヘミヤ記1章と2章

ネヘミヤが最初に行った仕事は、エルサレムの城壁の再建だった。(3-

6章)。その後、エズラは、神がモーセに与えた律法を男女の会衆に読み聞かせるよう求められた。レビ人は律法を "はっきりと "人々に説明し、皆が "理解 "できるようにした。ネヘミヤ8:1-8

「民はみな、律法の言葉を聞いて涙を流し、自分たちが神に従わなかったために、神の懲らしめを受けたことを悟った。そこで、ネヘミヤ、エズラ、レビ人は民に言った：「今日は、あなたがたの神、主にとって聖なる日である。嘆いたり、泣いたりしてはならない。...

"主の喜びは、あなたがたの力である。"- 9、10節

この後、民は主を礼拝し、自分たちの罪を告白し、イスラエルの歴史を通しての過去の罪を語り出した。(ネヘミヤ9:1-

37)。彼らは神と「確かな契約を結ぶ」ことを誓い、それを書き、封印した。(38節)。彼らはまた、「

すべての命令、規則、定めに注意深く従い」、主のためのすべてのささげものに貢献し、自分たちの神の「家をおろそかにしない」ことを約束した。ネヘミヤ10:28-39

ネヘミヤ記の第10章に記されているこの光景は、神の王国の地上段階において起こることに似ているかもしれない。その時、人類は敵の地、すなわち大敵である死の地から帰還する。神は預言者エレミヤを通してこう言われた：「わたしは彼らの嘆きを喜びに変え、悲しみに代えて慰めと喜びを与える：主は宣言される、あなたの働きは報われる。彼らは敵の国から帰る。"エレミヤ31:13,16; 1コリント15:26

その時、神はイスラエルと "新しい契約"を結ばれる。主は言われる、"わたしがイスラエルとユダの人々と新しい契約を結ぶ日が来る。この契約は、わたしが彼らの先祖と結んだ契約のようなも

のではない。夫が妻を愛するように、わたしは彼らを愛したが、彼らはその契約を破った、と主は言われる。しかし、これは、
、その日の後に私がイスラエルの民と結ぶ新しい契約である、と主は言われる。わたしは、わたしの命令を彼らの奥深くに置き、彼らの心に書き記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。彼らは隣人に教える必要はなく、また親族に教える必要もない。わたしは彼らの悪を赦し、彼らの罪を再び思い出すことはない。(エレミヤ31:31-34)。残り的人类が墓から甦るとき、彼らもまた、この契約に基づいて主のもとに戻る機会が与えられる。イザヤ56:6-8; 2:2-4